

あれから10年 さらに飛躍へ

本校吹奏楽部の10回目となる定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。今年で10回目ということは平成21年度に第1回の定期演奏会が行われたこととなります。記念すべき第1回は平成21年11月15日松江市総合文化センター プラバホールで行うように企画されました。どんなことでも最初に行うことは大変なことです。10年前に当時の吹奏楽部の顧問である飯塚 晶先生（現江津高校）と田村康雄先生（現教育指導課）により始められています。

この定期演奏会の立ち上げを中心となって行い、第1回から第6回の演奏会に関わっていた田村康雄先生に、当時の想いや様子を寄せていただきました。

演奏会を立ち上げるにあたって、私がこだわったことがいくつかあります。

1. 生徒自身が演奏会を企画・運営・演出するという、コンクール等とはまた違った発表の機会を通し、生徒自身が成長していくこと。そして、音楽の楽しさを感じてくれることを目指しました。生徒たちが選曲、演出、プログラム作成等、各係で仕事を分担し、時には意見の対立もありましたが、回を重ねる度にグレードアップしたステージを作ってくれたと思います。
2. 「定期」演奏会とすること。たまたまメンバーがそろったから演奏会をやるのではなく、毎年「定期」的に続けて開催することに意味がある、と当時の部員たちにも話をしました。（まさに、今年で10回となったわけですが）OB・OGが裏方スタッフとして手伝ってくれたり、演奏会を聴きにに来てくれたこともうれしかったです。これも毎年回数を重ねたからこそだと思います。
3. 11月23日に行われる収穫祭のPRとあわせて開催したいので、演奏会の開催時期は11月前半とすること。演奏会の中に抽選会を入れたのも収穫祭のPRのためです。ホールの予約は他団体と希望日が重なると抽選になるので、なかなか希望通りの日がとれないこともありました。現在のクリスマス開催もとてもいいと思います。
4. 他の文化部の発表の場も提供すること。当初は書道部や美術部の作品もロビーに展示してもらいました。学校紹介の展示もやりました。

このようなこだわりをもって生徒と共に準備を始めたのですが、演奏会直前になってインフルエンザが蔓延し、学級閉鎖があいつぐ中、とても演奏会を開催できる状況ではなく、やむなく演奏会を中止することになりました。このとき、ホール側のご厚意で、ドタキャンにも関わらずキャンセル料はいらぬといっていたことががせてくれたものでした。生徒も非常に残念がっていましたので、生徒たちには「演奏会は中止ではなく延期する」と話し、ホールが空いている日を予約して、年明けの1月に念願の第1回定期演奏会を開催しました。

11月開催予定がインフルエンザの影響でできなくなり、諦めかけていた演奏会でしたが、平成22年1月15日の金曜日、18時30分に2年生13名、1年生16名、顧問2名、当時の“音楽部”31名による演奏会が始まりました。急遽平日開催となり、当時の先生方や生徒の皆さんの苦労も多かったことでしょう。そのような中でも開催に至ったのは、多くの人の支えや協力、そして絶対開催したいという部員や顧問の先生方の熱い想いがあったからこそできたものだと思います。この「定期」が10年続くという節目が本日、平成30年12月25日です。

このように、今年の定期演奏会は記念すべき10回目ということで、部員が様々な工夫を凝らした構成になっているようです。第1部はFantasy Stageとして、楽しく元気な曲を中心に、Fantasy：幻想的で、気まぐれ、奇抜な思いつき、空想的な世界観に浸ってください。そして、直訳すると上品な、優雅な、素敵な、素晴らしいElegant Stageと銘打った第2部は、初の試みで演劇部との共演で、劇と音楽を交えたステージに取り組みます。さらに、第3部は流行の曲をみんなで楽しもう！Pop Stageです。今年流行った曲や話題になった人物にまつわる曲を松農メドレーとして披露します。ここではパフォーマンスにも注目してください。

最後に、10年分の想いをつなぐ今日の定期演奏会が、
皆様にとって素敵なクリスマスプレゼントになりますように。

Merry Christmas!